※令和３年度以前入学生用

学校番号	220

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編古典Ｂ（東京書籍）						
副教材等	完成古文単語３２１（尚文出版）古典文法要点整理ノート（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・昔の日本文化や風習、思想を知ることで今後の日常生活をより豊かにしましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるため、昔の言葉や日本文化に関する知識をしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

古典の作品を読むことを通じて、昔の人々の考え方を知る。現代の日常生活とのつながりや違いについて知り、現代の日本文化について考察することを到達目標とする。古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。			古典を読んで思想や感情などを的確に捉え、その内容を考察して、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりについて、理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a			d	e		
1学期	随筆	教材: 「枕草子」	○			◎	○	a:随筆に書かれた作者の価値観と自身の価値観を比較して、味わおうとしている。 d:作者の考えを正確に読み取り、理解することができている。 e:随筆というジャンルの特質について知識を身に着けている。	a:行動の観察 d:ノート、ワークシート e:小テスト及び定期考査
	物語	教材: 「伊勢物語」	○			◎	○	a:現代の生活に残る古典の要素を見つけようとしている。 d:本文の内容を的確に読み取り、登場人物の心情を捉えている。 e:和歌に関する知識を身に着けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の点検及び分析 e:定期考査
2学期	史記	教材: 廉頗と藺相如	○			◎	○	a:登場人物の行動や心情について、自身の考えと引き比べて読み味わうことができている。 d:文章の内容を展開に即して的確に理解することができる。 e:中国の史書に関する知識を簡潔にまとめ、理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の点検及び定期考査 e:小テスト
	歴史物語	教材: 「大鏡」	○			◎	○	a:歴史物語を読み、人物の状況や思想を的確に捉えようとしている。 d:文章の内容を物語の展開に即して的確に理解することができる。 e:古典に用いられている語句の意味、用法を理解している。	a:行動の観察 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
3学期	物語	教材: 「源氏物語」	○			◎	○	a:物語を読み、人物の思想や感情を的確にとらえようとしている。 d:登場人物の感情を的確に読み取ることができる。 e:古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。